

氏 名	井上 勝央
学科名	医療薬学科
研究教室名	薬物動態制御学教室
タイトル	クスリの生体内運命を司るトランスポーター
サブタイトル	体内でのクスリ運搬システムの巧みな制御
講義内容	服用された薬は、消化管で吸収され循環血に移行し、代謝や排泄により体内から消去されますが、それらを免れた薬が作用発現部位へ到達することで薬効を発揮します。このような体内での薬の「旅」は我々が想像する以上に過酷で、目的とする作用部位に至るまでの過程には様々な障壁が存在します。外来異物であるため薬は生体に備わっている防御機構により排除されるのです。一方で、その生体防御システムを回避しながら、生体に「必要」と認識されれば、特異的に細胞や組織に移行できるシステムも存在します。 そこで本講義では、くすりの生体内運命を決定する因子を概説するとともに、その因子の1つである「トランスポーター」と呼ばれるタンパク質を取り上げ、薬を細胞や組織への取り込む分子機構やそれに関わる薬の飲み合わせ（薬物間相互作用）について紹介します。
持参する物	パソコン（Windows 7、接続端子： RGB）※HDMI も対応可能
用意していただきたい 機材等	プロジェクター、スクリーン
そ の 他	